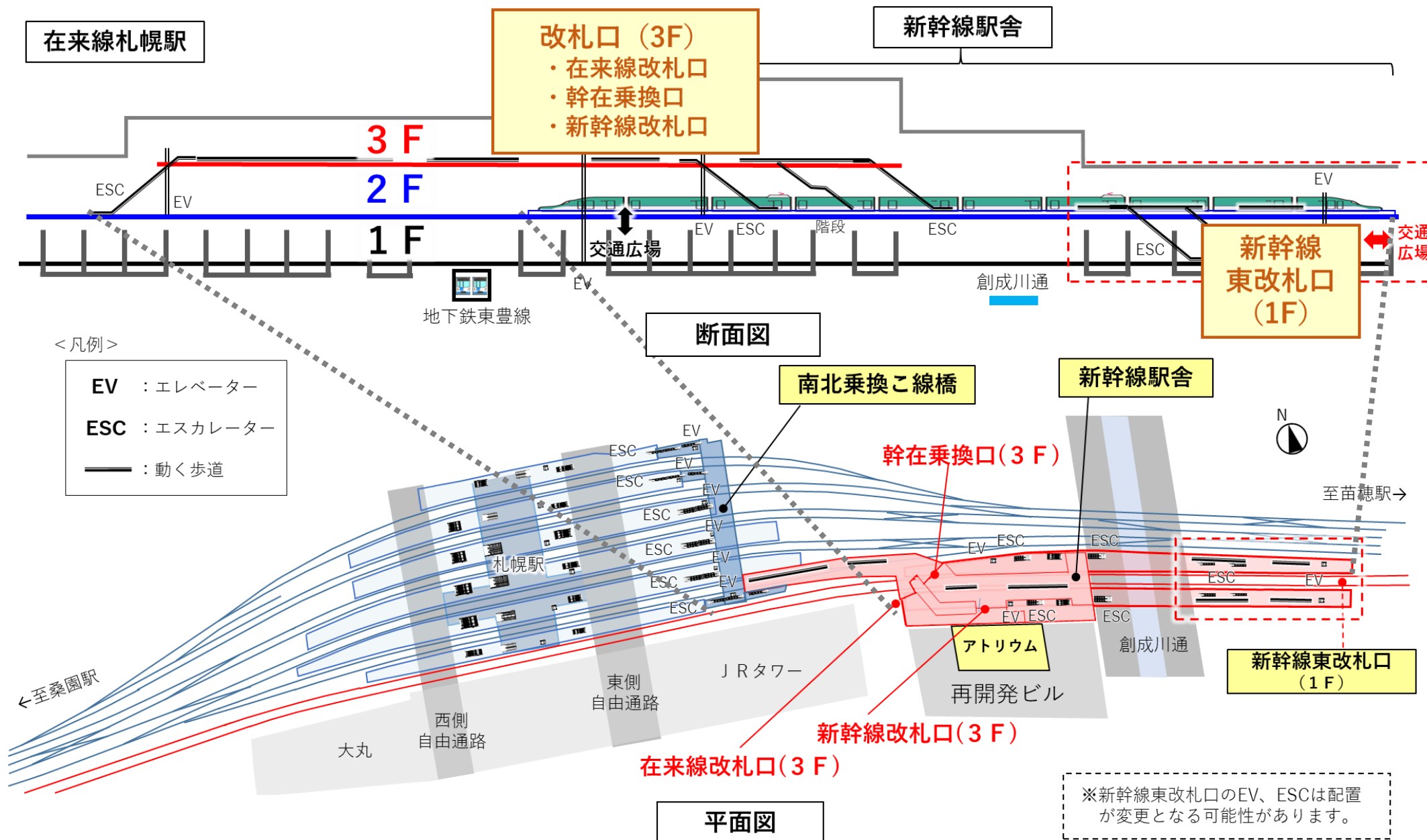


札幌駅における取り組みについて

2022年7月
J R 北海道

新幹線札幌駅の概要

新幹線札幌駅の概要（全体計画）



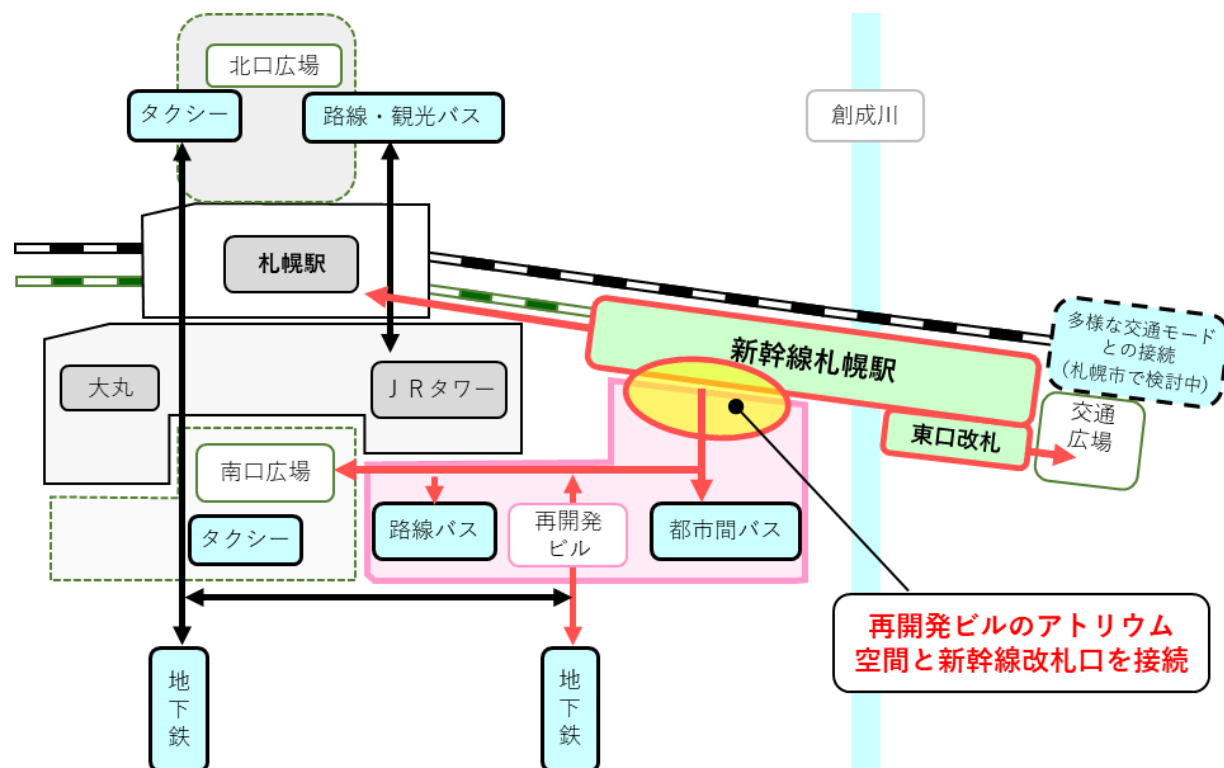
新幹線札幌駅の概要（新幹線改札口）

・新幹線改札口と再開発ビルのアトリウム空間を接続

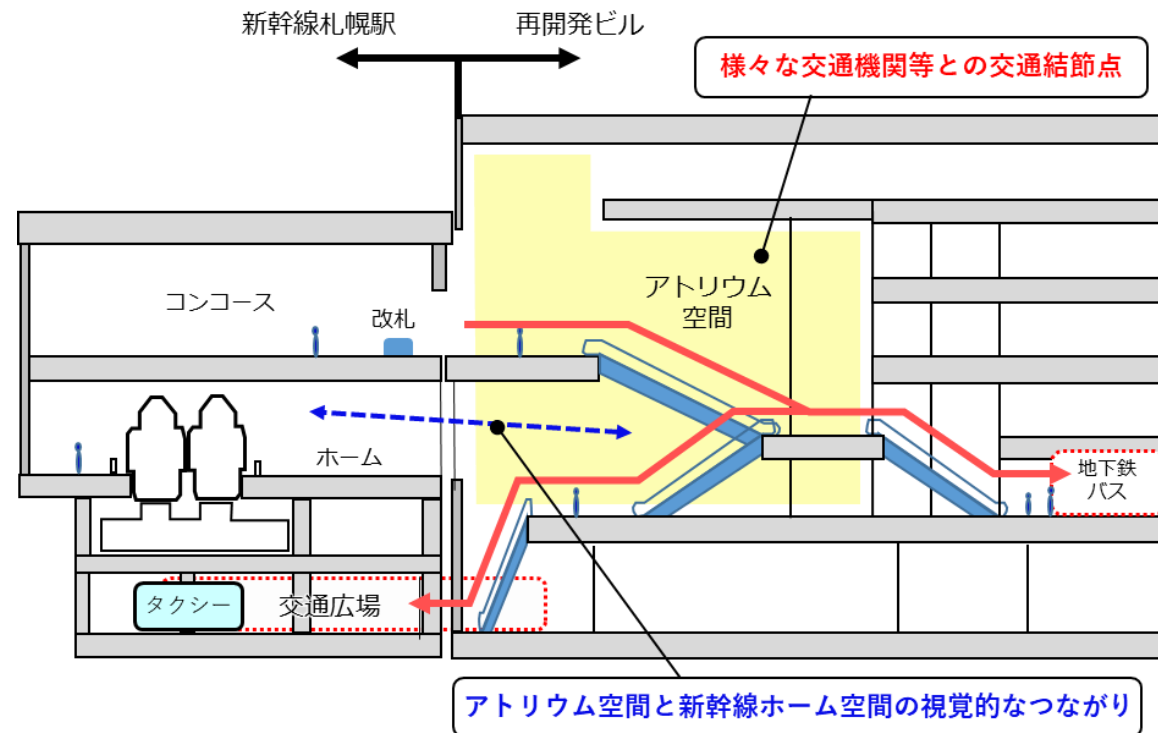
→地下鉄、バス、タクシーなど様々な交通機関とスムーズに乗換えが可能

→札幌を印象付ける玄関口、交通結節点としての役割

再開発ビルのアトリウム空間と接続した新幹線改札口



< 他交通機関との主要な乗換経路 >



< 断面イメージ >

再開発ビルのアトリウム空間と接続した新幹線改札口



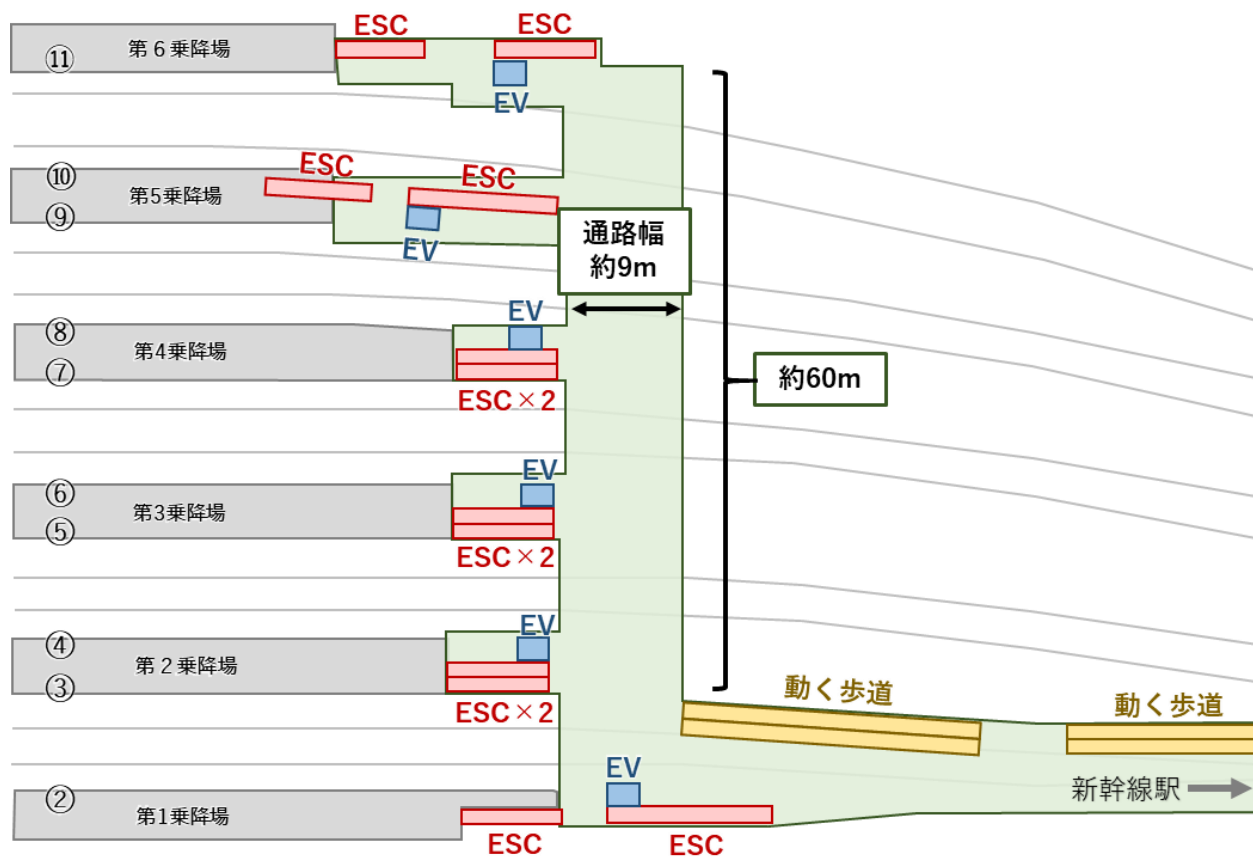
<アトリウム空間から新幹線駅舎の眺め>

新幹線札幌駅の概要（南北乗換こ線橋）

・ 在来線各ホームから直接新幹線駅にアクセス可能な乗換こ線橋を整備

→各ホームにそれぞれエレベーター、エスカレーター設置

→ゆとりのある通路幅（約9m）を確保



< 平面図 >

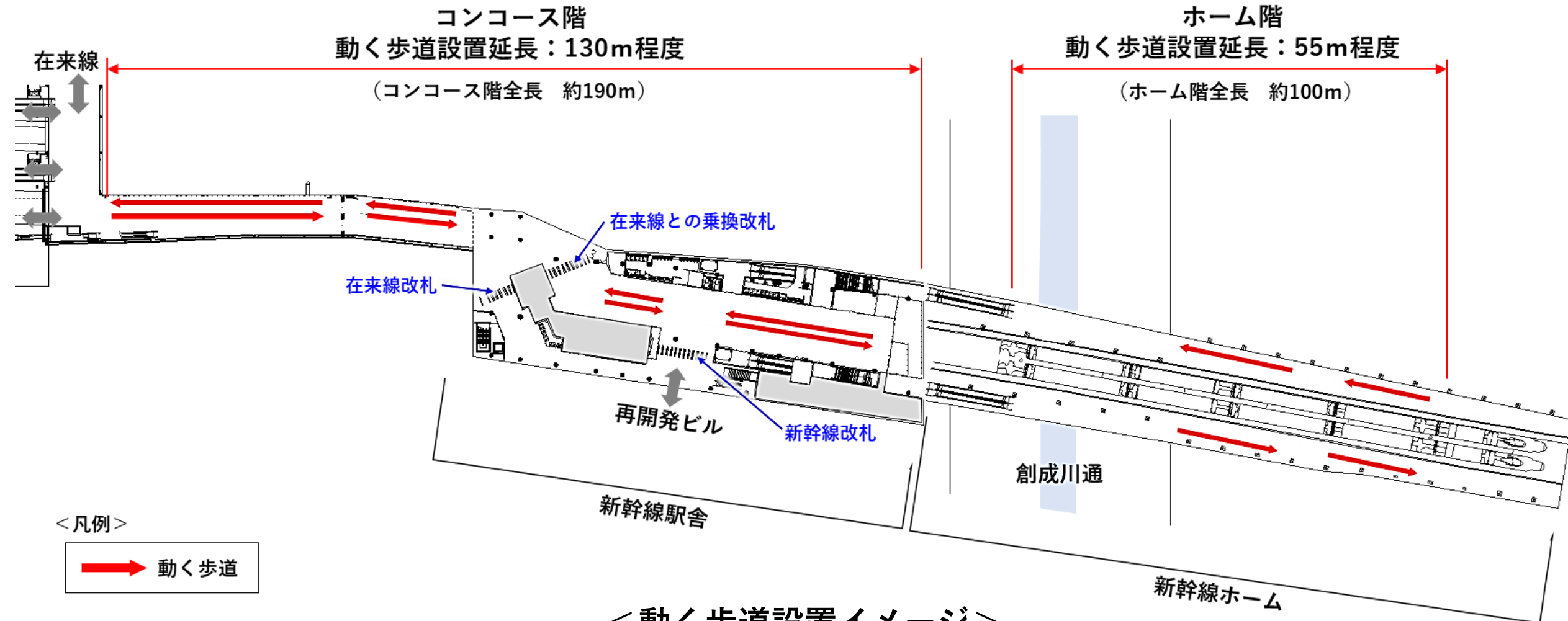


< イメージ >

新幹線札幌駅の概要（動く歩道）

・ 幹在乗換こ線橋、新幹線コンコース・ホーム上に動く歩道を設置

→ スムーズな移動、乗換えを実現



< 動く歩道設置イメージ >

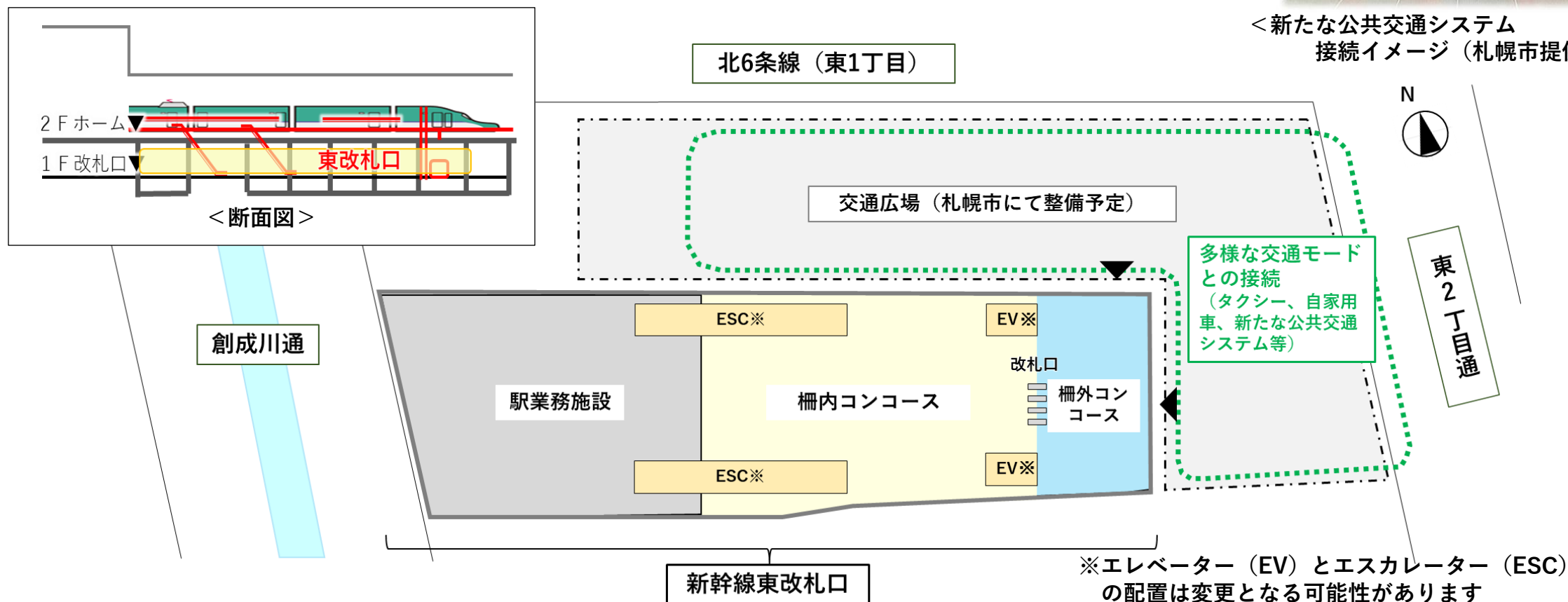
新幹線札幌駅の概要（新幹線東改札口）

・創成東地区の新たな交通拠点として新幹線東改札口を設置

- 新幹線直結の利便性
- 札幌市にて交通広場を整備予定
- 札幌市にて多様な交通モードとの接続を検討中



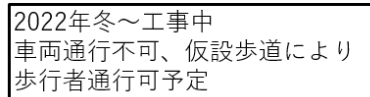
<新たな公共交通システム
接続イメージ（札幌市提供）>



(年度)



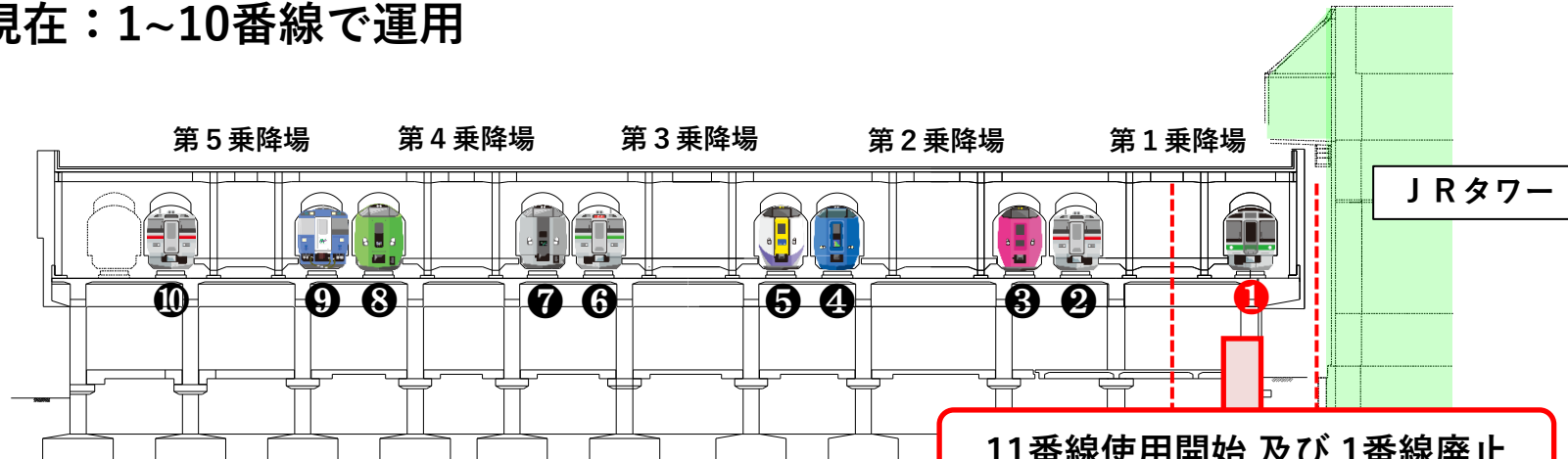
J R 北海道 施工範囲：約800m (西5丁目～東1丁目)



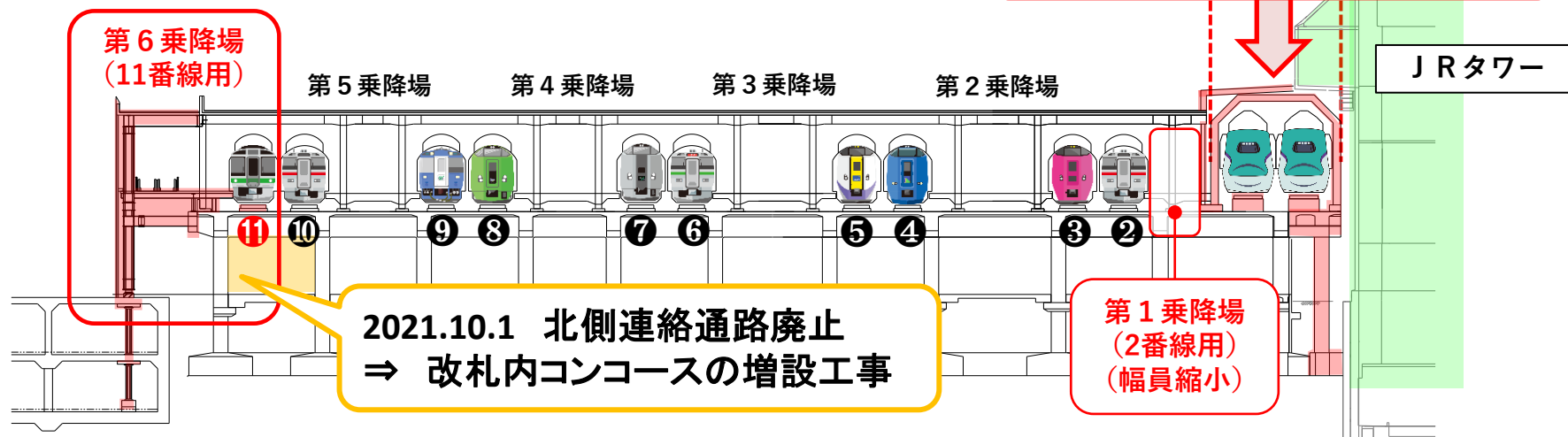
新幹線札幌駅の概要（在来線札幌駅 1 1 番線ホーム）

【断面図(ホーム階)】

■ 現在：1～10番線で運用



■ 2022年10月頃：2～11番線の運用へ変更



【工事の進捗状況】



新幹線札幌駅の概要（新幹線札幌駅デザイン案）

◆新幹線札幌駅に求められていること

1. 交通ネットワークの中心となる駅
2. 魅力と活力あふれる札幌の新しい顔
3. 創成東地区や周辺の発展につなげる駅



◆周辺の景観特性



▲札幌駅



▲創成川



▲歴史

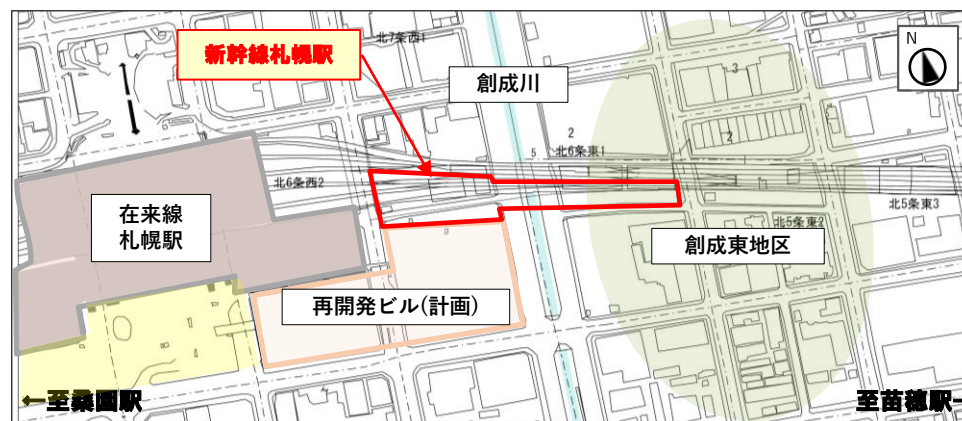


▲地形/自然

◆デザインコンセプト

大地の架け橋

北海道には豊かな大自然があり、そこでの人々の営みが北海道ならではの風景を作り出しています。雄大なランドスケープが札幌と日本を、そして札幌と世界をつなぐ「架け橋」となるような新幹線札幌駅を創り出します。



<位置図>

新幹線札幌駅の概要（新幹線札幌駅デザイン案）

◆外観イメージ（南側近景）

創成川上空に新たな札幌の顔となる外観



新幹線札幌駅の概要（新幹線札幌駅デザイン案）

◆外観イメージ（南側鳥瞰）



◆その他

・地域と連携した駅づくり

北海道、札幌市にゆかりのある素材を活用



道産木材



赤レンガ



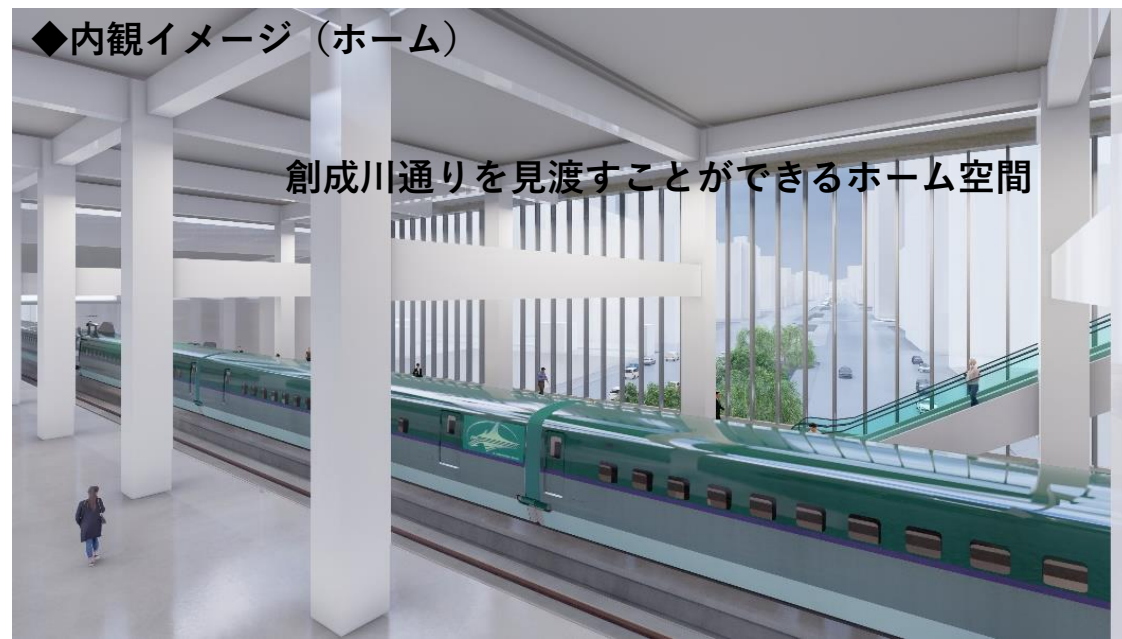
札幌軟石

・環境にやさしい駅を目指します

省エネルギー対応

◆設計者（株）JR東日本建築設計

◆内観イメージ（ホーム）



札幌駅周辺再開発事業

札幌駅周辺の再開発（計画概要）

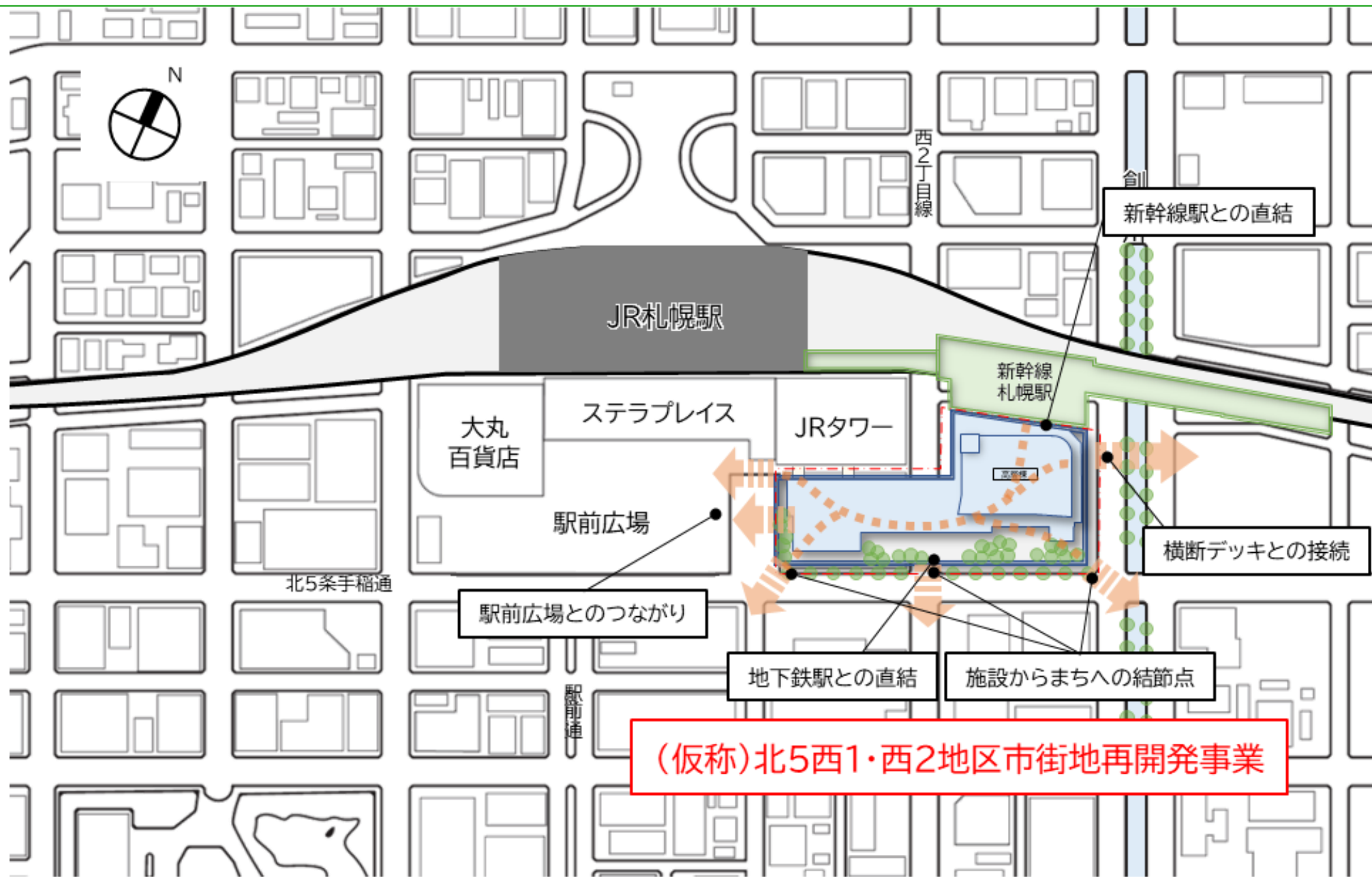
事業主体	札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発準備組合		
	[札幌市・北海道旅客鉄道(株)・札幌駅総合開発(株)・ ジェイ・アール北海道バス(株)・JR北海道ホテルズ(株)]		
延床面積	約388,500㎡（容積率：約1,500%）		
主要用途	展望施設	(41F~43F)	約4,500㎡
	国際水準ホテル	(35F~40F)	約25,500㎡（約200室）
	オフィス	(10F~12F,18F~33F)	約85,500㎡
	宿泊主体ホテル	(10F,14F~17F)	約14,000㎡（約300室）
	商業	(B1F~10F)	約109,000㎡
	その他共用部		約150,000㎡
高さ・階数	高さ約245m 地上43階 地下4階 （※JRタワー：高さ約173m 地上38階 地下4階）		
着工・竣工	着工：2023年度 竣工：2028年度		
設計	日本設計・清水建設 設計共同体		



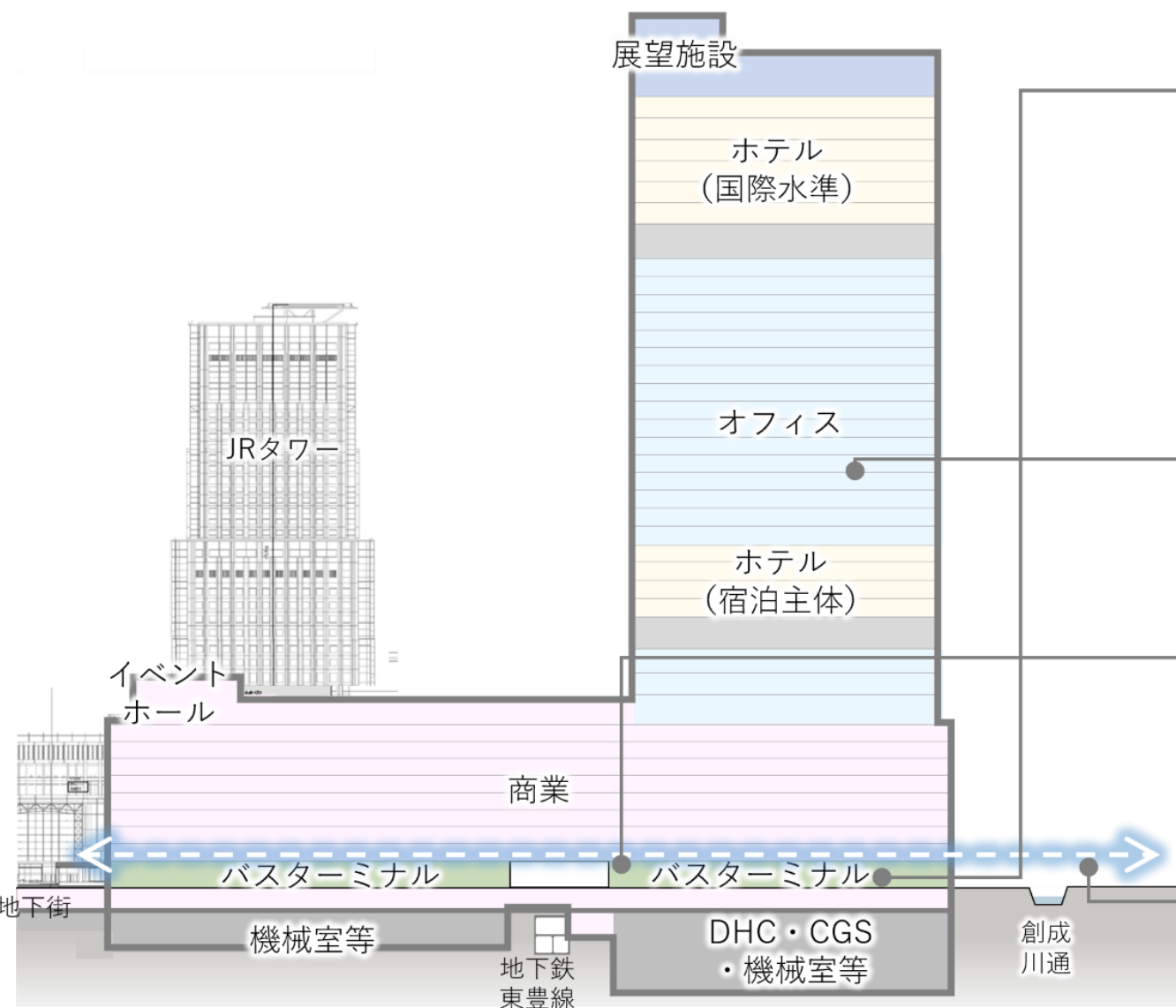
再開発ビルの外観イメージ

※現時点でのイメージであり今後変更となることがあります

札幌駅周辺の再開発（計画概要）



札幌駅周辺の再開発（再開発ビルの断面イメージ）



◆高度な交通結節機能

- ・新幹線駅改札直結の北海道魅力発信アトリウム
- ・道路上空の待合スペースを備えた2つのバスターミナル
- ・交通利便性を高める地下鉄駅との接続や交通広場
- ・まちの回遊性を高める歩行者ネットワーク
- ・観光やインバウンド向けの情報発信機能

◆魅力的な都市機能

- ・2タイプのホテルによる多様な滞在需要の受け入れ
- ・市内外企業の集積拠点となる先端オフィス
- ・商業施設やパブリックスペースの活用による賑わいづくり
- ・展望施設やイベントホールなどの都市アメニティ機能

◆持続可能な街づくりに向けた貢献

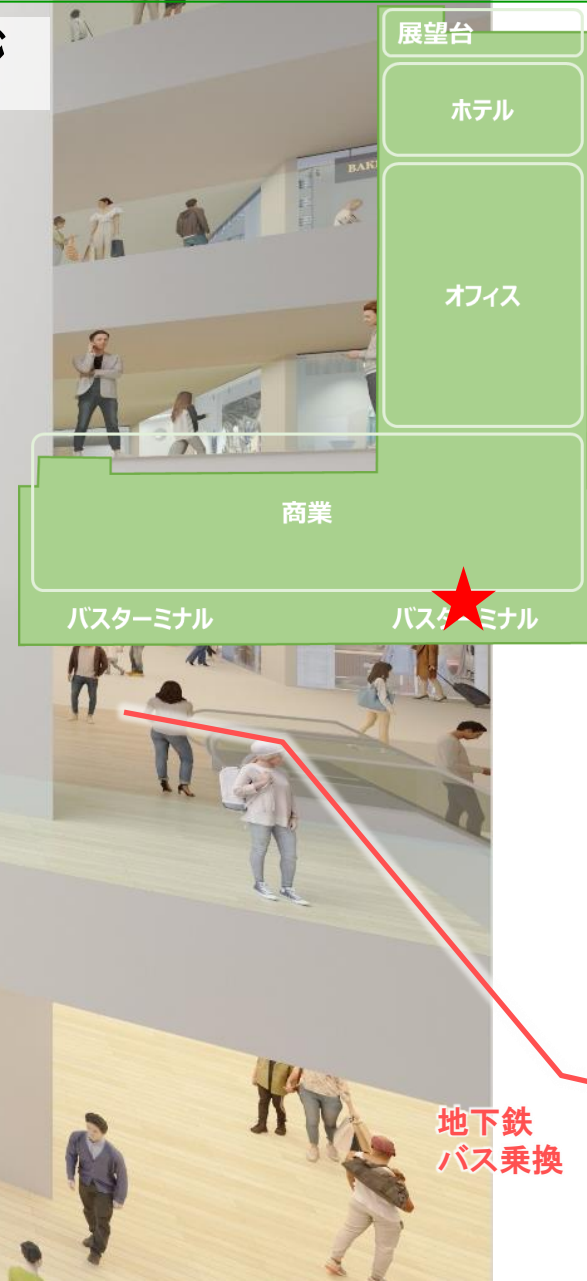
- ・カーボンニュートラルに向けた再生可能エネルギー利活用や資源循環
- ・一時滞在場所の確保による災害時の帰宅困難者対応
- ・周辺駐車場と連携した交通環境の改善

◆創成東エリアとの連携

- ・南口広場から創成東地区へつながる歩行者ネットワークの形成
- ・新幹線札幌駅東改札口の設置

札幌駅周辺の再開発（高度な交通結節機能）

再開発ビルのアトリウム空間と接続した新幹線改札口のイメージ



展望台

ホテル

オフィス

商業

バスターミナル

バスターミナル

地下鉄
バス乗換

<アトリウム空間から新幹線駅舎の眺め>

駅前広場アトリウム（仮称）のイメージ

札幌駅南口広場と建物内の賑わいをつなげる空間



展望台

ホテル

オフィス

商業



バスターミナル

バスターミナル

バスターミナル待合アトリウム（仮称）のイメージ



展望台

ホテル

オフィス

商業

バスターミナル



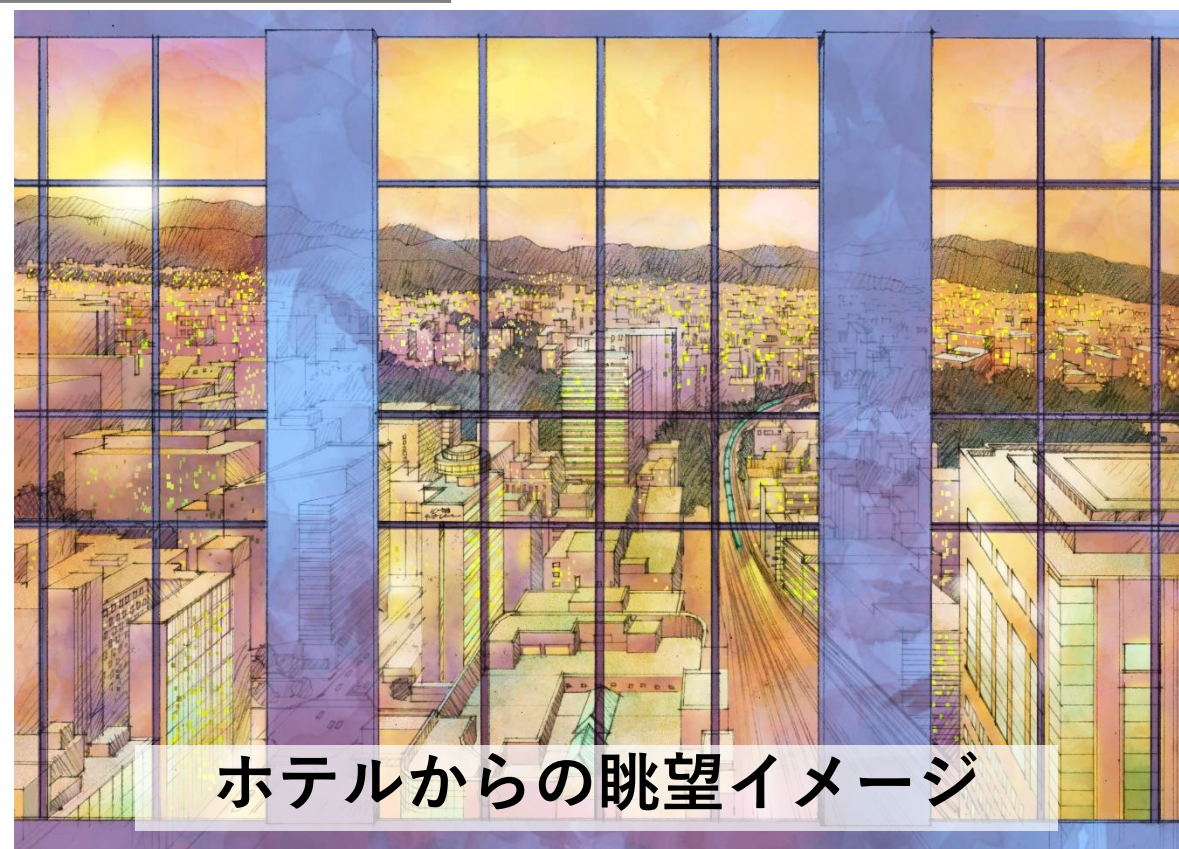
バスターミナル

札幌駅周辺の再開発（魅力的な都市機能）

- 「国際水準のホテル」の実現に向けて、マリオット・インターナショナルと提携

【ホテル計画概要】

ホテル運営	JR北海道ホテルズ株式会社
ホテル規模・客室数	ビル高層部 6 フロア・約200室
付帯施設	レストラン・スパ・フィットネス等



ホテルからの眺望イメージ

商業施設の内観イメージ



展望台

ホテル

オフィス

商業

バスターミナル

バスターミナル

『道内の魅力発信』 『地域資源』 『食文化』 『時間滞在型』
『コト消費型』 『インバウンド』

外装のスリットに面した屋内テラスイメージ



展望台

ホテル

オフィス

商業

バスターミナル

バスターミナル

展望ボックス（展望施設内）イメージ



★ 展望台

ホテル

オフィス

商業

バスターミナル

バスターミナル



展望台

ホテル

オフィス

商業

バスターミナル

バスターミナル

●基本設計・実施設計：2020～2023年度



●都市計画決定：2022年度
●事業認可：2023年度



●再開発組合設立：2023年度
●着工：2023年度
●全体竣工・供用開始：2028年度中

